

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見集計表

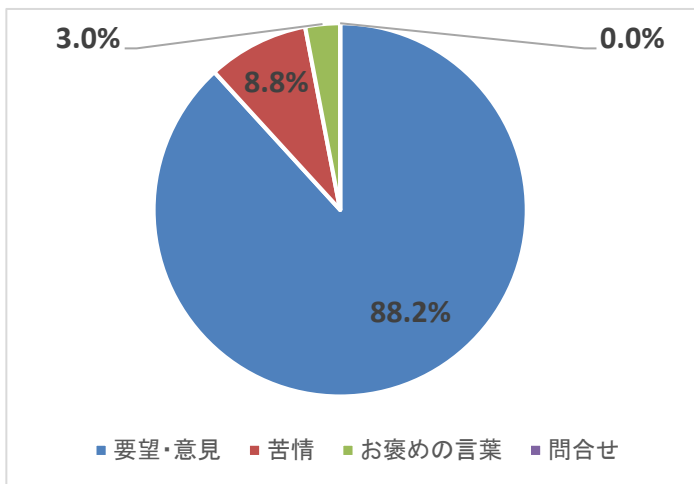
自由記載意見

区分	件数	前年度	比較	
記載者数	277	471	-194	-41.2%
意見数	365	574	-209	-36.4%

※一記載者から複数意見が挙がる場合があるため、記載者数と意見数は一致しない。

種類区分

区分	件数	前年度	比較	
要望・意見	322	542	-220	-40.6%
苦情	32	19	13	68.4%
お褒めの言葉	11	9	2	22.2%
問合せ	0	5	-5	-100.0%



所管区分

区分	件数	前年度	比較
地域づくり推進課	30	51	-21
防災防犯課	21	23	-2
環境課	10	23	-13
市民課	1	0	1
東部出張所・葉の木沢山活動センター	0	0	0
地域福祉課	6	8	-2
生活福祉課	2	5	-3
児童福祉課	16	39	-23
高齢者支援課	6	20	-14
地域包括支援センター	5	12	-7
健康推進課	20	16	4
健康づくり政策課	2	26	-24
保険年金課	7	8	-1
観光物産課	8	15	-7
企業振興課	20	37	-17
農林課	8	8	0
都市政策課	49	69	-20
道路課	58	64	-6
河川課	1	3	-2
水道総務課	0	2	-2
水道整備課	1	3	-2
下水道課	5	6	-1
教育総務課	2	2	0
学校教育指導課	6	3	3
学校給食センター	0	0	0
文化振興課・埋蔵文化財センター・図書館	1	3	-2
生涯学習スポーツ課	9	3	6
総務課	16	11	5
企画政策課	84	107	-23
情報システム課	0	0	0
財務課	2	3	-1
税務課	3	5	-2
収納課	0	0	0
会計課	0	0	0
議会事務局	0	0	0
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0
選挙管理委員会事務局	0	0	0

※複数の所管区分にまたがる意見等もある。

399 575 -176

内容区分

区分	件数	前年度	比較
地域・交流	26	40	-14
防災	2	4	-2
防災行政無線	4	8	-4
防犯・街路灯・交通安全	15	12	3
環境（住環境）	5	17	-12
ごみ	5	7	-2
医療・医療費	14	29	-15
子育て	16	34	-18
高齢者福祉	10	9	1
健康・検診など	15	40	-25
その他福祉	9	15	-6
産業振興（全体的）	1	2	-1
雇用・企業誘致	12	34	-22
観光	4	10	-6
特産品	2	1	1
商業	8	6	2
農業	8	5	3
都市計画・土地利用	13	21	-8
公園	12	12	0
道路（整備、維持管理など）	20	30	-10
歩道	9	9	0
除雪	31	25	6
交通網	28	43	-15
河川	1	3	-2
下水・上水	6	9	-3
教育（小・中）	8	4	4
芸術・文化・スポーツ	6	6	0
職員・市役所	16	12	4
総合計画関連	4	6	-2
市制	3	4	-1
広聴・広報・HP	11	17	-6
アンケート	19	13	6
財政	2	4	-2
公共施設	7	10	-3
料金・手数料	0	3	-3
税金	3	5	-2
議会	0	0	0
その他	44	66	-22

399 575 -176

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
件 名	地域活動及び自治会活動のあり方について		
状 況 等	<p>自治会や地域づくり活動団体は、地域において人と人とのつながりをつくり、そのつながりを持った市民の皆様が連携・協力しながら、地域の様々な課題を解決するために様々な活動に取り組んでいます。地域ごとの特性により全ての地域が同じ取り組みをしているものではありませんが、それぞれの取り組みは、滝沢市がめざす「幸福感を育む環境づくり」の実現に向けた行動であり、市といたしましても、よりよい地域づくりの推進のための支援をしてまいります。</p> <p>市民の皆様においては、地域づくり活動などを負担に感じることもあると思いますが、可能な範囲で少しずつでもご参加いただき、誰でも参加しやすい雰囲気をもみんなで作り上げていくことが大切であると考えます。</p>		
件 名	地域の交流について		
状 況 等	<p>地域の交流は、日常生活送るうえで人と人がつながり、そのつながりを広げていくために必要なものです。地域の交流によりみんなが幸せに暮らすための地域づくりが実現するものと考えています。一方で、その活動については高齢化や負担増という状況があることも認識しているところです。</p> <p>また、世代や考え方が違う様々な人と交流することにより、その接し方に苦勞し、悩まれている方も多くおられると思います。</p> <p>様々な課題がある中ではありますが、「地域づくり活動は自らが考え、行動することから始まる」という考えを踏まえ、市内の多様な人と人のつながりを活かし、市民の想いを地域づくりへ反映させる「市民主体」の地域づくりの実現が大切であると考えます。</p>		
件 名	地域活動の担い手について		
状 況 等	<p>自治会の活動は、地域の清掃、交流行事、防災・防犯活動など多岐にわたります。それらの活動は地域のために必要なものですが、運営に携わる自治会役員の負担が大きくなっています。</p> <p>このため、自治会に参加する誰もが負担を感じることなく活動できるよう、自治会が取り組む、負担軽減のための見直し、担い手へのサポートのための体制づくりの支援をしてまいります。</p>		
件 名	公共施設について		
状 況 等	<p>各地域の集会所は、市民の皆様が、気軽に参加できるお茶のみ会や趣味のサークルなど、地域と関わりがもてる場として大切であると考えます。</p> <p>また、ビッグルーフ滝沢をはじめとする市内の公共施設は、様々な地域の人たちが集まり交流を深める拠点としての大切な役割を担っていると考えます。</p> <p>それぞれの施設の特性を生かしながら、市民の皆様がさまざまな活動を行う拠点づくりを進めてまいります。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
件 名	防犯・交通安全について		
状 況 等	<p>防犯・交通安全につきましては、少年補導員や青色回転灯装着車両等による見回り活動や、交通指導隊による街頭指導を日頃より実施しております。また、関係団体及び警察等と連携し、防犯・交通安全に関わる情報を共有し、広報等を通して住民の皆様へ情報提供を行っております。</p> <p>また、市では夜間における歩行者の安全確保のために防犯灯を設置しておりますが、設置要望につきましては、各自治会・各学校より毎年提出していただいております。市では要望箇所の状況に応じて、優先順位順に設置を進めておりますので、設置要望がございましたら、まずお住まいの自治会へご相談いただきますようお願いいたします。</p>		
件 名	通学路の整備について		
状 況 等	<p>市では、各自治会・各学校から、地域における交通安全施設改善要望を毎年とりまとめており、通学路に関する改善要望も受付しております。</p> <p>要望箇所については、関係機関合同での現地点検や、滝沢市教育委員会主催の通学路安全推進会議において、情報共有や意見交換を実施しております。その上で、警察や道路管理者など各所管課において、要望箇所の改善実施・検討を進めております。</p> <p>市では、今後も継続して関係機関と連携しながら、通学路の整備改善に繋げて参りますので、通学路における改善要望等がございましたら、お住まいの自治会や学校に相談していただきますようお願いいたします。</p>		
件 名	防災行政無線について		
状 況 等	<p>設置場所について、スピーカは市内約140カ所に設置しております。設置にあたり、事前調査の上現在の場所に設置しておりますが、スピーカとの高低差等により聞こえにくい場所があることが現状でございます。スピーカの方向調整等を行うことにより、聞こえるようになることもございますので、防災防犯課までご連絡いただければと思います。</p> <p>防災行政無線放送について、雨や風が強い日には放送がかき消されてしまったり、気密性が高い住宅の屋内では放送が聞こえないことがあります。そのため、市HP、いわてモバイルメール及び滝沢NAVIでも無線放送と同じ内容を確認できるようにしておりますので、登録をお願いします。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	環境課
件 名	リサイクルの見学について		
状 況 等	<p>清掃センターでは、施設見学の実施を受け入れていますので、機会がある場合には是非ご活用ください。</p>		
件 名	ごみ処理時のエネルギーや再生可能エネルギーの活用について		
状 況 等	<p>現在、市内のごみ処理を実施している滝沢・雫石環境組合の施設では、ごみを熔融処理した際の排熱を利用し、一部発電に活用するなどしています。</p> <p>また、今後、市の環境基本計画の改定に合わせ、再生可能エネルギーの積極的利活用や、環境を意識したさまざまな形でのエネルギー利用を検討していく予定です。</p>		
件 名	ごみステーションとその周辺環境について		
状 況 等	<p>ごみステーションは地域の皆さんでご利用いただくものですので、清潔に保つためには、地域の皆さんのご理解・ご協力が不可欠です。ごみの出し方、利用方法については、今後も地元自治会、滝沢・雫石環境組合と協力しながら、啓発に努めてまいります。</p> <p>ごみステーションの設置場所によっては、管理が大変な場合があると思います。問題によって、すぐ解決できる場合とそうでない場合がありますが、問題点を明確にしていく意味からも改善についてのご協議は引き続き賜りたいと思います。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	市民課
-----	-------	-----	-----

件 名	住民票のコンビニ交付について
状 況 等	<p>住民票のコンビニ交付につきまして、令和3年度までは費用対効果等の面から導入を見送っておりました。</p> <p>しかし、当市においてもマイナンバーカードの交付率が4割を超えており、多くの市民の方がマイナンバーカードを保有している状況から、当市では令和4年度中に住民票や印鑑証明のコンビニ交付をスタートさせるべく準備をしております。</p> <p>また、令和4年度にはコンビニ交付のほかに、マイナンバーカードを用いてスマートフォンやパソコンから各種証明書を申請できる、スマート申請について導入を検討しているところです。</p> <p>今後も、より良い市民サービスの構築に向け検討をしてまいります。</p>

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域福祉課
件 名	地域福祉の充実について		
状 況 等	<p>現在、国の地域福祉の基本的な方針として、様々な課題が複合的に入り混じったご家庭に対し、一つ一つの制度だけではなく、関係する機関や団体と行政が連携して、見守りや必要なサービスを提供していく体制が求められています。</p> <p>滝沢市においても、現在、次期滝沢市地域福祉計画を策定中であり、アンケートも実施しました。また今後は、担い手とされる団体の皆様方とも意見交換を実施する予定です。それらを通じていただいたご意見を参考に課題を抽出し、その課題に対する取り組みを検討し、国の方針も参考にしながら、効果的・計画的な支援に努めてまいります。</p>		
件 名	障がい者への支援の充実について		
状 況 等	<p>現在、第二次滝沢市障がい者計画を策定中であり、アンケートも実施しております。いただいたご意見を参考に課題を抽出し、その課題に対する取り組みを検討し、効果的・計画的な支援に努めてまいります。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	生活福祉課
件 名	生活費が苦しいことについて		
状 況 等	最低限の生活費を継続的に支給する制度として生活保護があります。 生活保護は、収入や資産等の要件を満たせば、どなたでも受給ができる権利があります。 生活福祉課や市社会福祉協議会で常時相談受付をして必要となる助言や手続きができる体制を構築しております。		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	児童福祉課
件 名	子育て支援、子育て環境の充実について		
状 況 等	<p>市では子ども・子育て支援の充実を図るため、「第2期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を推進しているところです。幼児期の教育・保育等の量の見込みに対する確保方策を講じ、子どもと子育て世帯にやさしい環境づくりの充実や、児童虐待等の防止と早期発見、早期対応に努めてまいります。</p>		
件 名	放課後児童クラブの運営及び保育料について		
状 況 等	<p>放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)は国の実施要綱に基づき、国庫補助事業として、運営を委託しているものであることから、自主運営が基本であります。事務指導や職員の確保については市も支援に努めておりますので、ご理解をお願いします。なお、受託者側よりクラブの運営に支障が出てきた旨の申し出があれば、協議してまいります。また、保育料については、それぞれの父母会や運営法人がクラブの実情に応じて決定しています。各クラブは、国、県及び市の負担による委託料と保護者からの保育料によって運営されておりますので、保育料の負担についても重ねてご理解をお願いいたします。</p>		
件 名	放課後児童クラブの充実について		
状 況 等	<p>放課後児童クラブの整備については、利用ニーズが高まっていることを踏まえ、令和元年度の滝沢中央小学校の開設に合わせ、滝沢中央小学校区に2施設、また、大規模学童保育クラブの解消を目的とし、令和3年度に鶴飼小学校区に1施設を新設をしたところであります。今後につきましても、就学児童数や利用状況の把握に努め、各学区内の放課後児童クラブ間で調整を図り、関係機関の協力を得ながら児童の放課後の居場所の確保に努めてまいります。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	高齢者支援課
-----	-------	-----	--------

件 名	介護保険制度や高齢者施設の整備等について
状 況 等	<p>介護保険制度は、住み慣れた地域でいつまでも健やかに暮らせるように、また介護が必要になっても、安心して自立した生活を送れるように、社会全体で支えていこうというものです。この制度の仕組みや利用の仕方について、より分かりやすく周知できるよう取り組んでまいります。</p> <p>特別養護老人ホームなどの入所施設の整備や介護保険料については、介護保険サービス利用量の見込み等を見据えて検討し決定することとされており、3年毎に見直すこととされている介護保険事業計画で検討してまいります。</p>

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域包括支援センター
件 名	老後安心して暮らせる対策について		
状 況 等	<p>滝沢市も他自治体同様に団塊の世代が75歳以上となる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据え、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、また、生きがいのある自分らしい暮らしを続けることができるよう、関係機関と連携を図りながら地域包括ケアシステムの深化・推進にむけて取り組んでまいります。</p>		
件 名	高齢者の交流の場の推進について		
状 況 等	<p>高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、身近に地域とつながる場所があることが大切と考えます。現在、高齢者が身近で集まり交流しながら介護予防を学び、活動につながる場として、いきいきサロン(市内31か所)やいきいき百歳体操の開催などがあります。現在、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながらの活動が求められるところですので、今後も全国や県内の感染の動向、市本部の方針を沿いながら、高齢者の交流の場の推進に向けて支援してまいります。</p>		
件 名	一人暮らし高齢者が安心して暮らせる対策について		
状 況 等	<p>市地域包括支援センター及び北部圏域地域包括支援センター、また中部圏域・南部圏域の相談窓口として委託しております2か所のランチと共に、65歳以上の一人暮らし世帯や高齢者世帯の方々に対するの訪問や、相談窓口、各種事業において、健康状態や生活状況の把握・相談等を行っております。必要に応じて専門的なサービス等につなげ、また、自治会や民生・児童委員など、地域の関係者の方々と連携して見守り支援を行うなど、1人暮らしであっても安心して暮らすことができるよう取り組んでおります。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
件 名	新型コロナワクチン接種の予約が取りづらいことについて		
状 況 等	初回接種(1・2回目接種)の初期には、コールセンターへの電話が集中し予約が取りづらいことがありましたが、その後、一部の病院で窓口受付を開始したり、年齢の高い順に予約を受け付けたりするなどの改善を行いました。追加接種(3回目接種)では、新たに郵便予約の方法を追加したことで、初期のような混雑はなく予約が取れる状況です。		
件 名	「健康に関する行事等が高齢者や働いてない人が対象なのか平日ばかりで参加できるものがないのが残念です。土日もあるばと思ってます」という意見について		
状 況 等	ノルディックウォーキング教室や地区健康教室などの一部は土日の開催も行っておりましたが、働き世代の参加が少ないのが現状です。広報や回覧等でお知らせも行っておりますが、より多くの世代の皆様へ情報が届くよう周知に努めるとともに、内容についても検討してまいりたいと思います。ぜひ、ご参加いただけましたら幸いです。		
件 名	「胃カメラ検査かバリウム検査か選択させてほしい。肺がん検診も集団検診ではなくしてほしい」という意見について		
状 況 等	現在、なるべくお近くで検診を受診していただけるように、各地域ごとに集団検診を実施しています。また、胃カメラ検査(胃部内視鏡検査)に対する補助としては、医療機関で受診していただく人間ドックの費用助成の中で実施しています。今後、市の検診として、胃カメラ検査(胃部内視鏡検査)や肺がん検診を医療機関で受診できるような体制を整備するには、医療機関との調整が必要になるため今後検討していきます。		
件 名	次の意見について <ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市との医療の結びつき ・滝沢市内の医療機関不足による盛岡市の医療機関受診について ・産婦人科がない(産む場所がない) ・病院のかかりつけ医としたいような所がない。 		
状 況 等	県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスが良く、住民の方々は滝沢市内をはじめ、盛岡市内の医療機関から病院を選択し、受診できる環境にあり、他市町村と比較して恵まれた医療環境にあると認識しております。		
件 名	医療の充実について		
状 況 等	市内には、2つの病院病院と16の診療所、18の歯科診療所があります。診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっております。また、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスが良く、住民の方々は滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し、受診できる環境にあり、他市町村と比較して恵まれた医療環境にあると認識しております。		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
件 名	本市の救急医療体制の整備や、医師確保について		
状 況 等	<p>救急医療について、休日(日中)の比較的軽症の場合は、岩手西北医師会の協力により休日救急当番医制事業(市内14の当番医の輪番制)を実施し、夜間の比較的重症の場合は、盛岡市医師会の協力により盛岡地区二次救急医療事業を実施しています。</p> <p>医師の確保については、限りある医療資源を有効に活用するため、県及び医師会並びに盛岡市や矢巾町を含めた盛岡医療圏で協議をし、診療科目等必要に応じ市内病院等への派遣(県立病院や大学病院等)が必要であると考えております。</p>		
件 名	訪問診療の実現について		
状 況 等	<p>訪問診療は、自宅療養中で通院が困難な方へ医師が定期的に訪問して診療を行うものです。その判断は主治医が行い、医療保険での利用が可能となっております。利用を希望する場合には、まずは主治医、病院へご相談ください。</p> <p>また、対象となる方の年齢や障がいの程度により、介護保険制度(担当課:高齢者支援課)や障がい者の制度(担当課:地域福祉課)も利用できる場合がありますので、詳しくは担当課までお問い合わせいただきますようお願いいたします。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	保険年金課
-----	-------	-----	-------

件 名	子ども医療費助成について
状 況 等	<p>当市は、人口に対する15歳未満の子どもの割合が県内で一番高いことから、子ども医療費の助成基準を他市町村と同等にした場合、他市町村よりも多くの予算が必要となる状況であります。(滝沢市14.45%、県平均11.87%、最低7.81%)</p> <p>そのため、子ども医療費を含め児童福祉に割り振りできる予算枠の中で、何ができるのか様々な検討を行っています。</p> <p>検討の結果、令和元年8月診療分から、3歳未満の子どもについては所得制限を撤廃するとともに、助成対象を中学生まで拡大(所得制限あり)いたしました。</p> <p>今後も、財源確保に努め、対象者の拡充について検討してまいります。</p> <p>なお、県内の子ども医療費助成は、県の子ども医療費助成の基準を基礎に、それぞれの市町村が独自に助成基準の拡大を行う形で実施されていることから、県内では市町村毎に医療費助成の基準が異なる事態となっております。</p> <p>当市では、子どもの医療費助成については、日本全国どこに住んでいても同じ基準で助成を受けられることが望ましいと考え、国に対しては少子化対策の一環として子どもの医療費助成制度を統一することを要望するとともに、県に対しては子ども医療費助成基準の拡大を要望しております。</p>

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康づくり政策課
-----	-------	-----	----------

件 名	「高齢者の健康づくりの施策を考えて欲しい」という意見について
状 況 等	市では、気軽に運動できる、健幸ウォーキング事業やノルディックウォーキング教室を実施しています。そのほか、教育委員会発行の『「生きがい」と「やりがい」の学びガイド』で様々なサークルなどをご紹介しますのでご活用ください。

件 名	「健康づくりサポーター養成を自治会毎に出してほしい」という意見について
状 況 等	現在、各自治会から保健推進員の推薦をいただき、地域の健康づくりの推進を目的とした活動を担っていただいています。

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	観光物産課
件 名	「ふるさと納税の返礼品、特産品などで魅力的なものがほしい」という意見について		
状 況 等	ふるさと納税の返礼品については、令和4年度から委託方法を変更し、魅力ある商品の発掘及び掘り起こしに取り組みます。また、特産品開発の補助金内容について引き続き改正しながら、より特産品の開発をし易い環境づくりに取り組みます。		
件 名	「チャグチャグ馬コの唄の防災無線による放送など、チャグチャグ馬コの里であることをPRしてほしい」という意見について		
状 況 等	令和4年度は、3年ぶりに行進行事を開催出来るよう準備しています。行事のPRについては、チャグチャグ馬コ保存会と相談しながら進めてまいります。また、令和3年度は防災無線による中止の放送となりましたが、令和4年度は1週間程度の昼の放送を予定しております。		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
件 名	企業誘致について		
状 況 等	<p>本市の企業誘致につきましては、土地利用に関する法令による規制から、新たに大規模な工場等を誘致することは難しい状況にあります。しかしながら、近年のICT産業の成長により、広い土地を必要としないIT企業の誘致につきましては、滝沢市IPUイノベーションセンターを中心に、岩手県、岩手県立大学及び滝沢市で連携した誘致活動を進めています。このような取り組みの成果として、岩手県立大学前にIT企業の集積を目指し整備された滝沢市IPUイノベーションパークは、令和3年度には1社の立地があり、現在も新たな立地の動きもある中で、産業用地の拡大に向けた検討も進めながら、今後も滝沢市の特色を活かした集積を目指し、企業誘致を進めて参ります。</p>		
件 名	雇用の確保について		
状 況 等	<p>雇用の確保につきましては、岩手県立大学前に市が整備した滝沢市IPUイノベーションパークへの企業誘致を進め、新たな雇用の創出に努力する他、集積したICT関連企業や大学等のポテンシャルを活かし、IoT等の活用による既存の市内事業所の生産性向上に向けた支援を図り、持続的な経営を維持することで、安定的な雇用の確保を目指します。また、市民や大学生等に市内事業所を知っていただくための活動にも注力して参ります。</p>		
件 名	商業について		
状 況 等	<p>大規模小売店舗の多くは盛岡市内にあり、商圈距離内にある滝沢市内には、数多くは立地されていない状況です。また、専用スーパー等の食糧品、衣類等の小売店につきましては、商圈人口等の条件により、地域によっては、大規模な民間事業者の進出には至らない状況となっています。高齢化が進み、日用品の買い物の課題もでてきており、今後は自治会、滝沢市商工会、各商工振興会などの関係機関と協議しながら、課題の把握に努め、対応を検討して参りたいと考えております。</p>		
件 名	地元事業所が盛り上がる街づくりについて		
状 況 等	<p>「がんばる地元事業者を地元が応援する・支える」という意識をもって産業振興を進めていく上でのルールとして、滝沢市産業振興条例を令和3年4月に施行しています。産業の発展が地域経済の活性化に果たす役割は重要であり、市の産業が発展していくためには、行政のみならず、事業者及び産業経済団体並びに市民が協働し、それぞれの役割について共通の認識をもって取り組んでいくことが重要です。今後も地域経済の発展に向けて取り組んで参ります。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	農林課
件 名	農業振興と担い手確保について		
状 況 等	<p>農業の振興と後継者の育成については、国・県・市並びに農協等関係機関連携のもと、様々な対策によりその振興と育成に努めているところです。</p> <p>国においては、「強い農林水産業」や「美しく活力ある農山漁村」を実現するための事業が推進されております。</p> <p>市においても、日本型直接支払制度や農地中間管理事業、水田の効率的な活用事業などを基本に、地域農業の支援や次世代の農業担い手の育成、新規就農者の支援を進めており、また認定農業者等中心となる経営体に農地の集積・集約を進め、今後も農業の振興を図って行きたいと考えております。</p>		
件 名	問題解決の相談等について		
状 況 等	<p>窓口では常にご相談をお受けしております。</p> <p>また、農業経営指導マネージャーもおりますので、新規就農相談のほか、経営や法人化等につきましても、問題解決に向けて取り組んでいるところであります。</p>		
件 名	ビッグルーフ滝沢 たきざわキッチン 産直について		
状 況 等	<p>これまでの市内産直施設と違い、入会費や店当番がないことから「気軽に出品できる産直」として生産者の中では位置づけられており、新規就農者や今まで産直出荷をした経験がない生産者のチャレンジを後押し出来る場所でもあります。</p> <p>一方、ラインナップの少なさや品質の低さなどはご指摘を受けていることから、市としましては、市内産直との繋がり強化やセミナー・勉強会の開催、市と共同の事業展開などを通して、お客様や生産者から愛される施設になれるよう、ともに築き上げていきます。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
件 名	市内の公共交通について		
状 況 等	<p>市の公共交通については、高齢者、公共交通不便地域の市民、さらには今後増えてくる免許返納者の移動手段の確保が課題となっております。</p> <p>市では、人口減少、少子高齢化、マイカー依存等の影響により、公共交通、特に路線バスの利用者が減少する中、将来にわたり持続可能で地域にとって望ましい公共交通ネットワークを構築するため、まちづくりと連携した公共交通の基本的な方針と施策体系を示す「滝沢市地域公共交通網形成計画」を平成29年9月に策定いたしました。</p> <p>市では、本計画に定める施策を展開し、地域公共交通の維持・確保に向けた取組を推進するとともに、地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスの検討を進めてまいります。</p>		
件 名	市内のバス運行について		
状 況 等	<p>滝沢市は、盛岡市のベッドタウンとして発展してきた経緯があり、盛岡市内への通勤、通学の需要が多いことから、市内のバス路線は盛岡市中心部へのアクセス路線が主であり、市役所周辺への路線をはじめ、市内地域間を結ぶ路線は少ない状況にあります。</p> <p>市内の地域間を結ぶ路線の運行については、交通事業者による新規路線整備や公費による新規運行は、現在のところ難しい状況にあり、公共交通の認知度向上、待合い環境及び乗り継ぎ環境等の改善を推進し、現行の路線バスや鉄道、タクシー等を活用しながら、利用しやすい公共交通網を検討してまいります。</p> <p>また、駅やバス停まで遠いなど、地域によって交通需要が異なることから、地域の皆さんと意見交換しながら、地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスの検討を進めてまいります。</p> <p>路線バスは、需要と運行経費のバランスにより維持されておりますが、マイカー依存等による利用者減少、運転手不足等から、年々路線の縮小、廃止を余儀なくされている状況にあります。赤字路線でも要件により、国・県・市が分担して補助を行い、運行を維持している路線もあります。また、過去に菓子地域の循環バスや、菓子地区から市役所周辺までの民間路線バスを運行しましたが、利用者が少なく廃止に至った経緯もあり、地域生活の足を守るという観点から、今後とも公共交通の積極的なご利用をお願いいたします。</p>		
件 名	市の都市構想について		
状 況 等	<p>人口減少・高齢化が進む中、特に地方都市では、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、だれもが高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めることが重要となっております。</p> <p>市では都市づくりの目指すべき方向性、整備方針及び地域ごとの特性を生かした将来のあるべき姿を、滝沢市総合計画や国土利用計画滝沢市計画の内容に沿いながら、その指針として「滝沢市都市計画マスタープラン」を平成27年3月に策定し、「人と人が結ばれる集約・連携型都市」を将来目標として各施策を展開しております。</p> <p>現在、市役所周辺を商業、行政、医療、教育等の機能、交通の結節点としての機能を持った、都市の中心を担う「中心拠点」を整備するため、その一角を担う商業地について民間による開発を進めているところであります。</p> <p>また、菓子地区、元村地区、鶴飼地区など、他の人口集中地区については「地域拠点」と位置付けており、それぞれ各地域の特徴を活かしながら、人とのつながりが生まれる「場」の創出と、「場」へのアクセスの形成を意識したまちづくりを展開していくものとしております。</p> <p>さらには雇用や活力を生む盛岡西リサーチパーク、岩手県立大学周辺、東北自動車道インターチェンジ周辺を「産業拠点」として形成するものとしております。</p> <p>市では、将来の人口減少や高齢化社会を見据え、これらの拠点の形成に努め、さらには各拠点間を公共交通で結ぶ集約・連携型の持続可能な都市づくりを目指してまいります。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	公園の遊具更新、整備について
状 況 等	<p>現在、市では滝沢総合公園を含めて大小191箇所ある公園の維持・管理を行っております。老朽化などにより修繕・更新が必要な遊具については、自治会の意向を確認しながら更新を進めておりますが、新規の公園や遊具については現在のところ整備する予定はありません。</p> <p>今後におきましては、人口減少や高齢化が進む動向を踏まえながら、利用状況やニーズを把握し、既存の公園をより活用していただけるよう、計画的に遊具等の更新を進めてまいります。</p>

件 名	空き家対策について
状 況 等	<p>空き家については、市を含めて全国的に年々増加している状況にあり、市では適切に管理されていない空き家の対策や利活用に関する施策を効果的かつ効率的に推進するため、市内空き家実態調査の結果を基に令和4年3月に「滝沢市空家等対策計画」を策定しました。</p> <p>今後におきましては、本計画に基づき、市内で適切に管理されていない空き家の所有者に対する措置や利活用に関する施策を進めてまいります。</p>

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	道路の除雪について
状況等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)について除雪を行っております。</p> <p>○市の除雪方法 市が行う除雪方法は、除雪機械で道路脇に雪を寄せる方法で、寄せた雪を移動させたり、道路から運び出すなどの排雪作業は実施しておりませんので、家の前に寄せられた雪の片づけは市民の皆様にご協力いただいております。</p> <p>○除雪の適切な実施 市道の除雪は早期完了を目標に行っておりますが、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより完了時間は左右されます。そのため、積雪による交通障害が予想される場合には、職員によるパトロールの実施等による確認、各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど、地域にあった除雪や適切な出動判断、初期除雪の徹底に努めております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度 市内を地区分けし除雪を行っておりますが、地区により降雪状況が異なる場合は 地区毎に出動を指示する必要があるため除雪回数に差が出る場合があります。作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○除雪業者の状況と対応 除雪業者においては、除雪オペレーターの高齢化や人員(担い手)不足、除雪機械の小型化等により除雪能力が低下してきたことに加え、住宅開発などで除雪対象路線は増加しているため負担は増加しています。このような状況をふまえ、市では市民と業者との相互理解の促進と協働除雪の意識醸成を図ってまいります。</p>

件 名	道路の整備について
状況等	<p>○歩道の整備促進 新設改良の際に歩道を設置しているほか、小学校などの教育施設周辺から交通安全対策として順次整備を進めております。 なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 市総合計画等と整合した箇所や幹線市道について、優先的に進めております。 また、財政等の理由で早期に整備が難しい箇所については部分的な側溝改修や路肩拡幅等により、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っていきます。</p> <p>○市以外が管理する道路への整備要望 国・県等が管理する道路について、学校や自治会、住民の方々からいただきました意見につきましては、都度情報提供を行い、整備の要望を行っております。</p>

件 名	道路の維持管理について
状況等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)の維持管理を行っております。</p> <p>○市道維持管理全般 日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修はその場で行うなど迅速化を図ってまいりました。しかしながら市道延長は500km以上に及んでおり、全ての状況を短期間に把握することは難しいため、道路を利用される方々の情報提供をお願いします。</p> <p>○計画的な修繕 舗装の全面補修や側溝設置など費用のかさむ工事については、市の修繕計画の中で危険度や緊急性を検討し順次修繕を進めております。</p>

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	水道整備課
件 名	「上下水道を全戸に通してほしい」という意見について		
状 況 等	<p>上水道については、認可されている給水区域内において、上水道を必要とされる方が、必要な場所に必要な口径で個人負担によりご利用いただけます。なお、私道であれば、埋設される水道管も個人の所有・管理となります。</p> <p>また、給水区域内で公道に面している場合、「未給水地域解消事業における配水管整備要綱及び取扱要領」により、3軒以上の既存住宅が給水申し込みすること等を要件に市で公道内の配水管を整備する制度があります。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	下水道課
件 名	「下水道の整備を早くすすめて欲しい」という意見について		
状 況 等	法律で定められている市街化区域における下水道整備は概ね完了しています。その他区域については、市街化区域の人口密集度と比較し、効率性及び採算性を勘案しながら整備区域を決定いたします。		
件 名	「補助金をもっと増やしてほしい。水洗にしたいけどお金が足りなくてできない家もいっぱいある」という意見について		
状 況 等	浄化槽設置に係る補助金は、国で定めている標準工事費を基に算出した金額となっております。滝沢市では、既存住宅へ浄化槽を設置される方に対して補助金を上乗せして交付しております。ただし、対象となるのは、汲み取り便所から浄化槽へ転換する場合のみとなります。 補助金のほかに、水洗便所に改造する場合、市が融資あっ旋し、利子補給する制度があります。戸建ての場合、100万円を限度とし5年以内の償還する条件です。		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	教育総務課
-----	----------	-----	-------

件 名	学習環境の整備について
状 況 等	<p>教育環境の充実につきましては、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に、学用品費、通学用品費、修学旅行費等の援助を行う就学援助制度等により、就学機会均等のための支援を行っています。</p> <p>また、学校施設の整備につきましては、児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう、計画的な施設設備の改修を進めています。防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、令和元年度から児童生徒の机・椅子の更新、令和2年度から学校放送設備の改修を進めています。令和3年度には、滝沢中学校の教室の増築工事を実施しています。</p> <p>支援者の増員につきましては、令和3年度からは、コロナ禍の中の学校教職員の多忙化解消のため、教室等の消毒作業、資料作成の補助等を行う、緊急スクールサポートスタッフを各校に配置しています。</p>

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	学校教育指導課
件 名	「交通マナーが悪く速度を出しすぎの車が多いため、地域や学校での子どもの見守りは続けてほしい」という意見について		
状 況 等	<p>自治会やPTAの皆様にご協力いただいておりますスクールガードは、登下校中の不審者対策としての見守り活動のため配置しているものであり、交通マナーの指導や交通整備を目的とした配置ではございません。</p> <p>子どもの交通安全の確保については、交通指導員を配置している防災防犯課と連携してまいります。</p>		
件 名	滝沢市の教育について(未来を担う子どもの育成、学力等)		
状 況 等	<p>本市は、教育大綱において「学びにより充実した人生を送ることができるまち」を基本政策に据え、全ての世代が学びによる幸福感を育めるよう、生涯にわたって学びあい、学んだことを生かせるとともに、伝統文化・芸術を次世代に継承し、ふるさとに愛着を持つことで、生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができるまちを目指しております。</p> <p>教育委員会としても、「正義」が通る学校、地域から「信頼」される学校づくりに取り組むとともに、確かな学力を育む教育の推進、豊かな人間性や社会性の育成、健康・安全活動の支援の充実を図り、「明るく かしく たくましい子」の育成を目指してまいります。</p> <p>また、教育委員会では、小中学校の連携により、9年間を見据えた学力向上の研究を行う「滝沢市小・中学校ジョイントアップスクール事業」を推進しているほか、盛岡大学・岩手県立大学との連携による児童生徒の学習のつまずきの解消や学習意欲の向上を図る「ラーニング・サポーター・プロジェクト事業」も実施しております。</p> <p>学校では、学習意欲の向上と基礎・基本の確実な定着のために「いわて授業づくり3つの視点」に沿った授業づくりの推進や、各種研修会への積極的な参加、調査結果を生かしたPDCAサイクルの構築等に取り組んでおります。</p>		
件 名	いじめについて		
状 況 等	<p>学校では、いじめに関するアンケートや全児童生徒との教育相談等を実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めているところであります。また、児童生徒自らが、思いやりの心をもつような取組や、いじめ撲滅へ向けた機運を醸成する取組を主体的に考え、実践しております。</p> <p>その中で、いじめを認知した場合には、いじめられた子の立場で対応することを基本姿勢とし、被害者・加害者の両方の保護者と連携しながら、問題の解決に当たることとしております。学校のいじめへの対応について疑問等を感じた場合には、学校及び教育委員会までご連絡・ご相談いただきますようお願いいたします。</p> <p>いじめについてのご相談は、教育委員会相談電話「すこやかテレフォン:019-687-3866」までご連絡ください。</p>		
件 名	「挨拶のできる子ども達に育ってほしい」という意見について		
状 況 等	<p>学校では、児童生徒の豊かな人間性を育むために、学校教育活動全体を通じて「友達や自分の命を尊重する態度」「思いやりの心」「郷土を愛する心」等、道徳教育の充実にも努めております。また、「道徳教育地区公開講座」を実施し、保護者や地域の方々に道徳教育の大切さを理解いただきながら、家庭・地域の協力・支援のもとで道徳教育を展開しているところであります。</p> <p>挨拶につきましても、「気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて明るく接すること」の大切さを実感させながら、心のこもった接し方ができるよう、道徳教育を推進しております。</p> <p>お気づきの点等がございましたら、学校及び教育委員会までご連絡ください。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	文化振興課
-----	----------	-----	-------

件 名	「イベントを復活し、活気を出してほしい。もっと芸術関連に力をいれてほしい」という意見について
状 況 等	芸術文化へのご意見をいただきありがとうございます。「芸術祭たきざわ」および「滝沢市郷土芸能まつり」については、感染症対策等を講じながら開催に向けて進めてまいりたいと考えております。その他芸術文化に関する情報提供を定期的に市HPおよび広報にて発信し、また、その他各種イベントの調整・連携をはかり、市民の皆様に芸術文化に触れる機会を提供できるよう努めてまいります。

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	生涯学習スポーツ課
件 名	「スポーツを大々的にやってほしい」という意見について		
状 況 等	生涯学習推進計画学びプランたきざわに基づき、子どもから高齢者まで全ての世代や初心者からアスリートまで全ての人々が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことによる参画交流・活躍を図ります。スポーツの「楽しさ」や「喜び」を共有してスポーツによる「人・つながり・地域づくり」を促進します。		
件 名	「勤労世代を対象とした学びの機会を充実させてほしい」という意見について		
状 況 等	<ul style="list-style-type: none"> ・広報たきざわや市ホームページ、「生きがい」と「やりがい」の学びガイドなどを通じた学びの情報共有や学習相談など全ての世代を対象とした学びの機会の充実に努めています。 ・市総合計画で示す自立世代や子育て世代、充実世代(18～65歳)などが参画交流・活躍できる学びの機会の充実に努めています。例えば、令和4年度市教委主催で課題解決セミナー(SDGsや発達障がい、ペアレントトレーニングなど)の土曜日開催を予定しています。 		
件 名	滝沢総合公園内駐車場拡張や既存設備の整備について		
状 況 等	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進計画学びプランたきざわに基づき、市内体育施設の計画的な維持管理、修繕、更新を通じた利用促進を図って参ります。 ・滝沢総合公園内駐車場においては、現状規模による有効活用を図ってまいります。 		
件 名	総合公園テニスコートのクレイコート一面について改善と使用料金の変更について		
状 況 等	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進計画学びプランたきざわに基づき、市内体育施設の計画的な維持管理、修繕、更新を通じた利用促進を図って参ります。 ・総合公園テニスコートにおいては、現状規模による有効活用を図ってまいります。 		
件 名	「趣味、スポーツなどを気軽にできる場を作ってほしい」という意見について		
状 況 等	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進計画学びプランたきざわに基づき、市内体育施設の計画的な維持管理、修繕、更新を通じた利用促進を図って参ります。 ・既存の市内体育施設のほかビッグルーフ滝沢などの有効利活用を推奨して参ります。 		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	生涯学習スポーツ課
-----	----------	-----	-----------

件 名	「市民がSDGSについて学び参加できるような機会がほしい」という意見について
状 況 等	平成30年度より県環境学習交流センターや大学などと連携・協働したSDGsセミナーを毎年(令和3年度はSDGsセミナーはコロナ禍により中止、ピクトグラムを通じた多文化共生地域づくりセミナーは実施)継続して開催しております。令和4年度も7月末にビッグルーフ滝沢にてSDGsセミナーの開催を予定しております。

件 名	「プールを作ってほしい」という意見について
状 況 等	現在のところ、市民向けのプール新設に関する計画はございません。

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	総務課
件 名	「職員の対応が悪い」という意見について		
状 況 等	市民からの苦情やご意見を真摯に受け止め、接遇研修などを充実させ、お客様の立場になったより良い対応ができるよう、今後も職員に指導を行ってまいります。		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	総合計画(市民の幸せ、幸福実感、暮らしやすさ)について		
状況等	<p>当市では、「幸せを実感できる滝沢市」の実現を目指し、「幸福感」をキーワードに市民の皆様と策定した「第1次滝沢市総合計画」を、平成27年度から進めています。</p> <p>この計画の中では、市民の皆様にとって幸福感につながる行動の例を「幸福実感一覧表」として、また、市行政が幸福感を育む環境づくりに向けて取り組むものを「暮らしやすさ一覧表」としてまとめ、さまざまな指標や目標値を設定しています。</p> <p>「幸福実感一覧表」では、市民を7つの世代と5つの生活の場面ごと、掛け合わせて35の区分ごとに、「幸福感を育むための一人一人の行動」「象徴指標」「指標の基準値及び目標値」「行動例示」を示しています。</p> <p>また、「暮らしやすさ一覧表」では、「めざす地域の姿」実現に向けた「8つの視点」と「視点が描く『めざすまちの姿』」に基づく、「市民の日常生活に必要な利便性の確保」と「危機管理上必要な機能」を表した45項目の最適化条件を定め、74の代表指標と、4年後、8年後の「めざそう値(目標値)」を定めています。</p> <p>第1次滝沢市総合計画の策定から現在まで、人々の考え方や生き方は多様化が進み、健康寿命や働き方の見直しなどをはじめ、「充実した人生」というものが重視されてきています。このような潮流は「幸せ」のとらえ方にも大きく影響しており、頂いたご意見に「幸せは個人が感じるもの」、「幸せの実感是人それぞれ」とあったように、「幸せ」はひとりひとりの多様な形があるものとして捉えています。令和5年度から始まる第2次滝沢市総合計画においては、この点も考慮しながら、ひとりひとりの多様で持続的な幸福を実現できるよう、環境づくりを進める見込みです。</p>		
件 名	アンケート(設問が多い、内容が難しい、統計的に分析するべき)について		
状況等	<p>たきざわ幸福実感アンケートは、市民の皆様が普段の生活でどのようなことを感じ、考えているかを測るため、平成15年度から毎年度実施しています。継続的に定点観測することで、第1次滝沢市総合計画で示している「幸福実感一覧表」、「暮らしやすさ一覧表」に掲げた指標の進捗を把握し、地域づくりや行政経営に活かしていくことが目的です。</p> <p>アンケートの分析にあたっては、性別や世代といった区分における母集団や標本数、標本誤差等も明らかにしています(たきざわ幸福実感アンケート報告書参照:市HP掲載)。また、平成15年度から継続して実施しているものであり、市民の皆様のご協力により集められているこのデータは、皆様の暮らしや考え方の推移を捉えられる貴重なものです。これら膨大なデータをより効果的な政策展開につなげられるよう、市ではAIを用いたシミュレーション分析も行っています。アンケートへの回答が多いほど、データの価値も高まり、暮らしの実態に沿った分析が可能です。</p> <p>アンケートの設問数や内容により、ご回答を頂く皆様へは大変お手数をおかけしますが、趣旨目的をご理解いただき今後もご協力いただけますと幸いです。よろしく申し上げます。</p>		
件 名	その他のご意見等について		
状況等	<p>市政や暮らしに関して多様なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、たきざわ幸福実感アンケートの回答においても、地域行事への参加や趣味・特技を披露する場、地域の役に立つ機会といった項目が継続して減少しています。</p> <p>このことから、新型コロナウイルス感染症の影響による地域行事の自粛によって、地域活動をベースとした人とのつながりの希薄化が懸念されます。長期にわたったつながりの希薄化は、学生や高齢者を始め、多くの世代にとって、その持続的幸福感が阻害される可能性のあるものです。</p> <p>一方で、「あなたは、いざという時に、頼れる相手がいいますか」、「あなたは、子どもが悩みを相談できる相手がいると感じていますか」という設問に対し、「はい」と答えた人の割合は大きく上昇しており、子どもとの会話の時間も伸びているなど、子育て世代に関する項目は、軒並み大きく上昇していました。</p> <p>これらは、新型コロナウイルス感染症がポジティブに影響した例と捉えることもでき、前例のない非常事態の渦中において、改めて頼れる存在の大切さを認識したり、その存在を再発見したりすることにつながったものと考えられます。加えて、地域活動等による対外的な交流機会が減少する中で、お家時間の増加により、家庭などの対内的な交流機会が増加したことが示されています。</p> <p>めまぐるしく移り変わる時勢ではありますが、頂いたご意見等をもとに、ポストコロナ・ウィズコロナを見据えながら、滝沢市がより住みよいところとなるよう、引き続き市政の展開に取り組んでまいります。</p>		

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	広報・ホームページなどこれからの情報発信の在り方について
状 況 等	<p>現在、広報たきざわは、1日と15日に毎月2回発行しており、1日号は市政の方針や事業など市民の皆様にお知らせしたい情報や興味を引く内容を掲載しています。15日号は、翌月の世代別カレンダーを折り込んだ「お知らせ版」となっています。限られた紙面を有効に活用し、皆さんに見やすく、興味を持っていただける内容を盛り込めるようより一層努めてまいります。</p> <p>また、ホームページやSNSなど、即時性のある情報発信に力を入れている自治体が増えてきております。しかしながら、全ての人がパソコンやスマホを持っているわけではなく、従来通り紙媒体である広報や回覧での情報発信の必要性も認識しております。</p> <p>現状では、広報たきざわをご覧いただいている割合は80%弱ではありますが、高齢世代と若年世代の間に20%程の差が見られます。このことより、紙媒体とSNS等を組み合わせながら、全世代に様々な媒体でアプローチできるよう、情報発信の在り方を検討してまいります。</p>

件 名	SNSの利用について
状 況 等	<p>当市ではTwitter、Instagram、YouTube等のSNSや滝沢市公式アプリ「滝沢NAVI」を活用し情報発信を行っております。SNSにおいては、広報紙面とは異なる視点から市の特産品やイベント情報、日常の何気ない滝沢の風景など多岐にわたる内容を掲載し、皆さんへお伝えしたいことを即時性の利点を活用し発信しております。</p>

件 名	イベントの周知について
状 況 等	<p>広報たきざわや回覧で周知をしているイベントは、市で主催・共催するものが主になります。広報作成のスケジュールの関係で掲載することができなかったイベント等は、インスタグラムなどのSNSで周知しております。広報やホームページ、SNS等様々な媒体から必要な情報を分かりやすく迅速に伝えられるよう努めてまいります。</p>

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	財務課
-----	-------	-----	-----

件 名	旧お山の湯について
状 況 等	<p>旧お山の湯につきましては、度重なるポンプ等の故障や運営費、維持費が相当かさむことから、止む無く施設を閉館しました。また、この場所は、山間部の麓ということもあり、土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)内に位置しており、大雨等による土砂災害の危険性が非常に高い場所となっています。</p> <p>そのため、市としましては、お山の湯としての再開は、考えていないところです。</p> <p>しかし、施設は残っていますので、これを有効に活用すべく、民間活力等による施設の利活用について模索していたところ、市内事業者より、当該施設や周辺の自然環境を活かした事業を展開して行きたいとの話があり、現在、施設を市内事業者に貸付けを行い、新たな事業を展開していこうとしているところです。</p>

令和3年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	税務課
-----	-------	-----	-----

件 名	住民税などの税負担について
状 況 等	<p>住民税(市・県民税)は、地方税法で税率(標準税率)が定められており、政令都市や一部の市町村・道府県を除き、全国ほぼ一律です。当市では、前年の所得に応じて決定する「所得割」が市民税6%、県民税4%となっており、一定の所得がある方に課せられる「均等割」が市民税3,500円、県民税2,500円となっております。標準税率を下回る税率での課税は様々な制限がかかる場合があるため、現行制度においては難しい状況となっております。</p> <p>今後も適正な課税を心掛けてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p>